

地域でだれもが安心して暮らすために

その他の質問事項

- ▼子育て支援及び若者サポート
- ▼防災（備蓄品）について

市民派連合
まるやま としこ
丸山 寿子



◆木質バイオマス発電所建設における安全対策

問 発電燃料（原木、チップ）への放射能測定機器はどのようなものか。また、工事車両通行の交通安全対策はどうか。

答 搬入時の空間放射線量を常時モニタリングし、警報ランプやアラーム音で異常値を知らせることが可能な測定機器を考慮しており、地元区や事業者と協議を続けていく。

工事車両の通行は東山山麓線を利用し、集落内は通行しない内容で協定書に定め、通学時間帯も制限して万全を期していくとされている。

◆塩尻ワインを生かしたブランド振興

問 新年度、片丘地区にワイナリーが二つ開業予定だが、東山山麓地域の振興の考えは。

答 ワインツーリズムを生かした「広域周辺パス」を試験的に行った。

商品開発を検討していく。

◆地域で安心して暮らすために

問 今後、高齢者や障がい者等、成年後見人制度を利用する人の増加が見込まれるが「市民後見人制度」の導入は。また、介護や終末期医療等の意思表示のためのエンディングノート活用について啓発の考えはどうか。

答 専門職でなくても対応できるケース等を受任する市民後見人の育成に向け、養成講座を新年度に計画している。同時にエンディングノートの普及促進の取り組みのため、市民向けの講座等の準備を進めている。



市内に増えている垣根式ぶどう畑

国道153号線塩尻町交差点の安全対策



新政会
あかはね せいじ
赤羽 誠治

その他の質問事項

- ▼市の組織再編と職員の意識改革
- ▼TPPと日欧EPAの本市農業への影響

◆道路行政について

問 変則に道路が交差している塩尻町交差点の危険解消計画は。

答 当該交差点の危険性は十分認識している。早期の交差点改良に向け、土地所有者との合意形成に努力している。

問 市道の地元要望に対する対応と財源の確保は。

答 緊急性の高い箇所から実施しているが、全てに対応できていない。早期修復は、重要と認識しているため、財源の確保に務めていく。

要望 地元要望に関する道路や側溝、危険箇所の整備がなかなか進んでいない。毎年度一定額の予算を確保して整備していくことをお願いする。

◆災害対策について

問 災害時には、連絡や情報収集の重要な手段として、スマートフォンや携帯電話があるが、本市の緊急電源確保の状況に



塩尻町交差点の早期改良を

ついて。

答 水を注ぐと発電する「マグネシウム空気電池」の備蓄と、どのメーカーの機器でも利用可能な災害対応充電器の提供を受けられるよう、携帯電話会社との協定について検討する。

◆出産できる環境の整備について

問 市内の出産施設の設置について、今後の取り組みはどうか。

答 国的にも産科医師が不足するなか市独自で対応するには厳しい状況であるが、松本地域との連携を図りながら最大限の努力を続けていく。